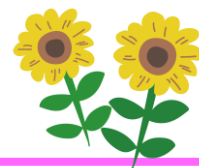


地域連携センターだより

発行/和泉市立総合医療センター 地域連携センター（毎月1回発行）
電話/直通 0725-41-3150 代表 0725-41-1331
FAX/直通 0725-41-2513



緩和医療科からのお知らせ

緩和ケア専従医師として2022年4月から赴任しました緩和医療科の川原です。地域の皆様にお世話になっております。

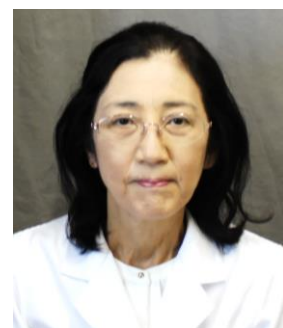
緩和ケアでは、外来診療や緩和ケアチーム活動(PCT)、緩和病棟(PCU)の3つのバランスと連携が重要となります。和泉市立総合医療センターはPCUが設置され、がん診療の後方支援としての緩和ケアは、PCUがある事で随分と仕事の幅が広がります。

昨今広く浸透してきた早期からの緩和ケアの実践には外来もPCTもPCUもなくてはならないものです。特に和泉では腫瘍内科との連携が強く、すなわち化学療法中から緩和ケアが始められ早期からの介入となっていました。しかし、終末期の患者のケアに特化しているわけではないため自宅での療養が困難となってきた終末期の患者さんの再入院に関してベッドが不足し対応できない場面も見受けられていました。

赴任後、在宅療養中の患者さんの再入院を課題として積極的に取り組んできました。地域の先生がたにがん患者さんを支えていただき自宅で良い時間を過ごし、そして再入院必要時にはバックアップできる体制を目指しています。また在宅の先生方へこちらからお願いするばかりでなく、緩和ケアのために逆紹介いただけるよう難治性疼痛や難治性腹水治療のため一時的入院にも対応できる体制も作っています。私はもともと麻酔科出身で痛み診療に携わってきました。緩和ケア医となってからも神経ブロックや腹水ろ過濃縮再静注法、漢方薬などを積極的に取り入れた疼痛管理をライフワークとしています。難治性疼痛に対していかに取り組むか、症状緩和が在宅移行への要となります。積極的疼痛管理を目指して、緩和病棟の役割の拡大を目指したいと思います。

当院はがん診療連携拠点病院ですから、地域の中核病院としてがん診療を支えていく立場にあります。地域連携センターとも密接に連絡を取り、地域の先生方と顔の見える関係を構築するために緩和ケア研修会やカンファレンス等展開していきたいと思っております。コロナ感染症の影響で途切れがちであった連携を強化し、地域に根付く病院を目指します。

緩和医療科 部長・顧問
川原玲子（かわはらりょうこ）





下部消化管内視鏡（大腸ファイバー）の検査予約を承っております



診察・検査予約依頼書の口下部消化管内視鏡に☑し、FAX頂ければ予約票を返信させていただきます。

※検査前日の就寝前に内服して頂く下剤の処方をお願いいたします。
センノシド3錠（フォルセニド、プルセニドなど）

検査説明と同意書の取得は当院にて対応いたします。
結果に関しては貴院にお返しいたしますので、貴院にて結果説明をお願いします。

※当日の緊急依頼も受け付けますのでご相談ください。

第2、4土曜日の検査予約も受け付けしております！



お知らせ



令和5年度 第2回 和泉市立総合医療センター
クリニカルカンファレンスの開催

日時：2023年7月27日（木）17：30～18：30



1. 『骨粗鬆症の治療について』

和泉市立総合医療センター 整形外科 永田 浩之

2. 『心不全の栄養療法について』

和泉市立総合医療センター 栄養管理室 上野山 碧



参加方法については別紙ご参照ください。

7月の休診・代診について

休診・代診については、ホームページ(休診案内)をご確認いただくか、
地域連携センターまでお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。



和泉市立総合医療センター 地域連携センター

月～金曜日 9：00～19：00まで

土曜日 9：00～13：00まで

（但し祝日・年末年始の休日は除く）

TEL:0725-41-3150（直通）

FAX:0725-41-2513（直通）

